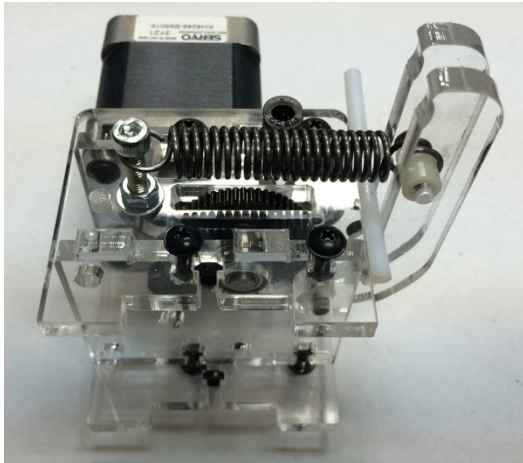


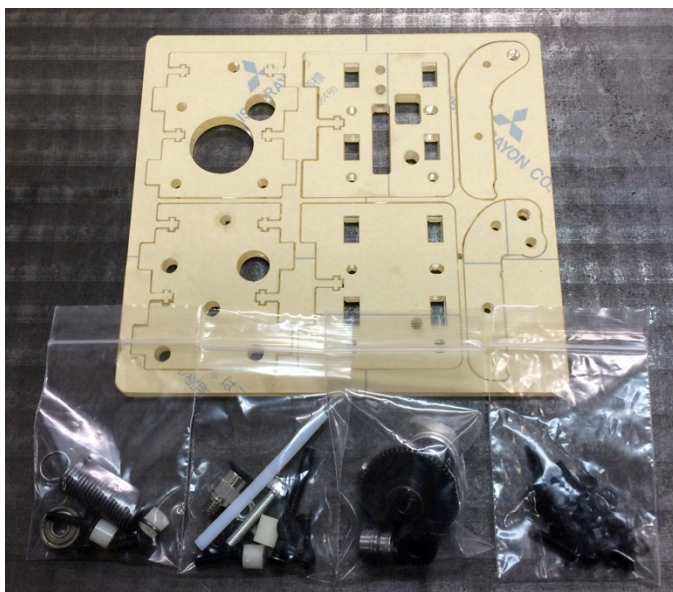
## B キット組立てマニュアル

### b-6 1st フィーダの組立て編

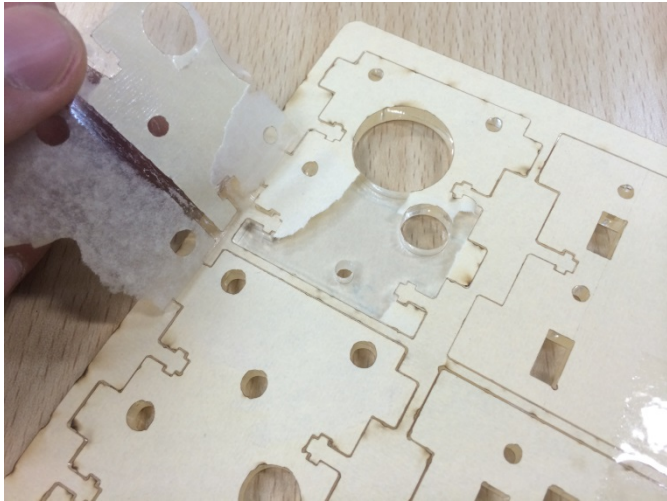
フィラメント材料を送るフィーダーを組み立てます。



アクリルパーツを多用しています。  
アクリルは非結晶で透明度が高い一方で、割れやすいのでネジの締めすぎには注意が必要です。



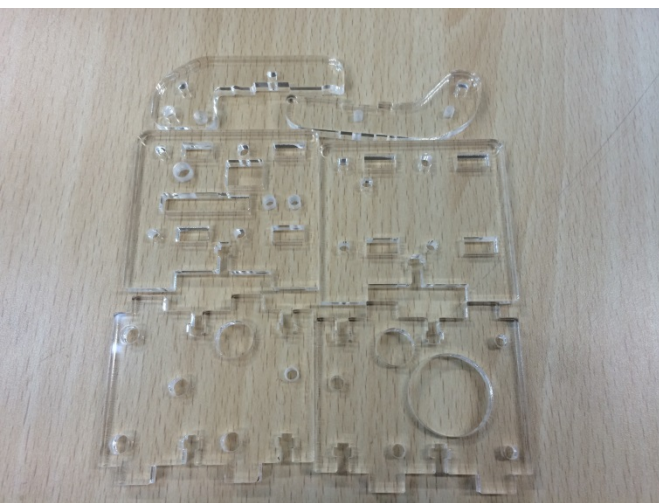
フィーダーのパーツを準備します。  
アクリルのレーザーカット部品と、袋 4 個に分かれています。  
レーザーカットパーツはネジ穴等の追加工済みです。  
レーザーの焦点の関係で断面が斜めの部分がありますが、気にせずに組立進めて下さい。



梱包時の固定に使用しているテープをはがすと、部分的に保護紙は剥がれて、透明部分が見えます。



セロテープを貼ってはがすと、保護紙は綺麗に剥がれます。



保護紙が剥がれ、綺麗になりました。

## アームの組立



このアクリルパーツとスプリングの入った袋を準備します。

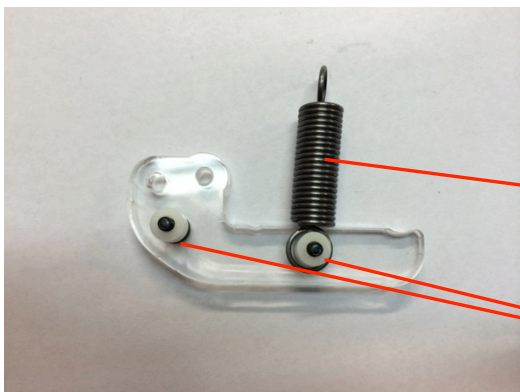
アーム 2

アーム 1

※アーム 1 と 2 を間違えないようにしてください。



アーム 1 の写真の穴に  
ネジを通します。  
ねじは M3-14 トラスネジ



ひっくり返してスペーサを通し  
スプリングを写真の位置に通します。

スプリング

スペーサ 厚さ 6mm 内径 3.2



二本のネジをアーム 2 のネジ穴に固定  
します。



M4-10 トラスネジ

ベアリング 624ZZ

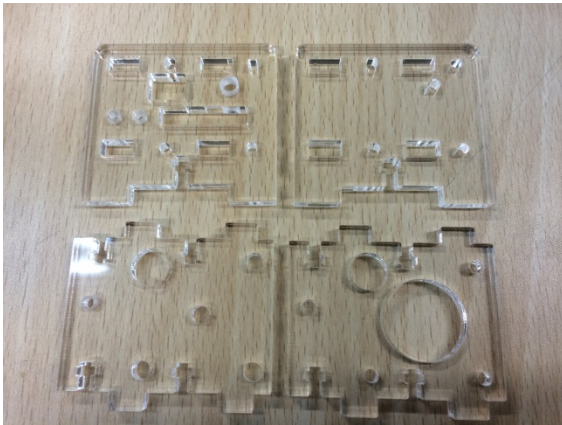
を準備します。



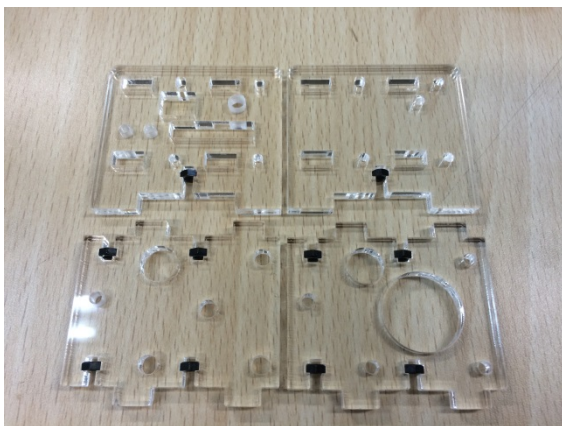
トラスネジをベアリングに通し、  
アーム 1 の図の位置のネジ穴に固定  
します。

※割れない程度に締めてください。

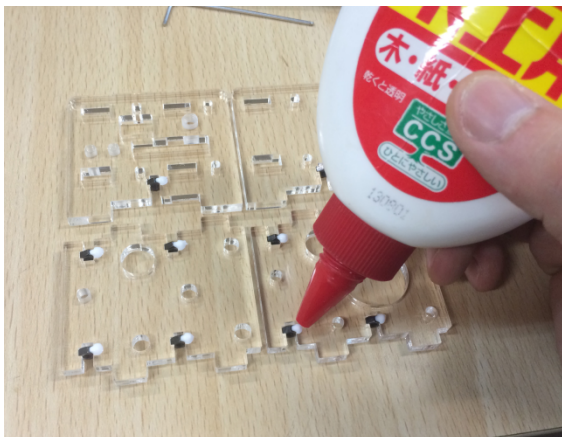
## アクリルパーツへのナットの取付け



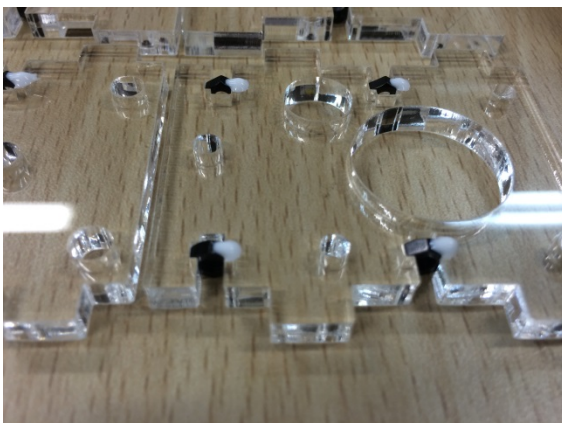
残りの 4 枚のアクリルパーツを図のように並べます。



M3 ナットをアクリルパーツの 10 箇所の溝にセットします。



組立時にナットが脱落しないように、木工用ボンドで固定します。

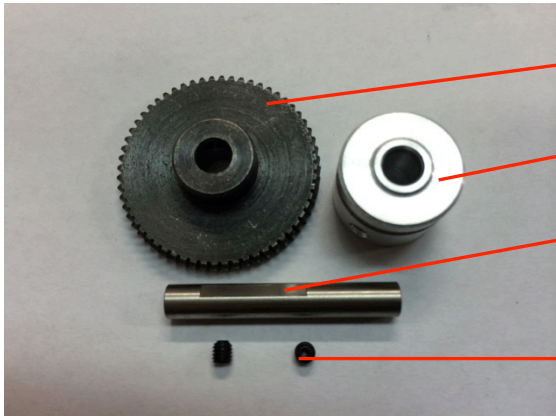


ボンドが少し乾いてから次の作業をしたほうが、綺麗に仕上がります。

## ドライブロールの組立

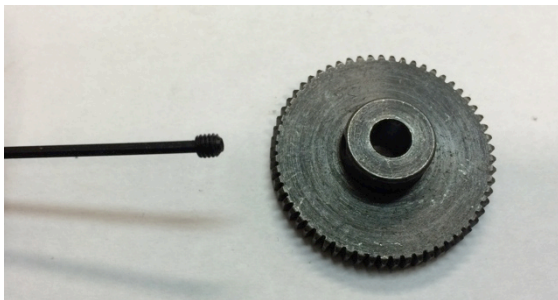


ギヤの入った袋を準備します。

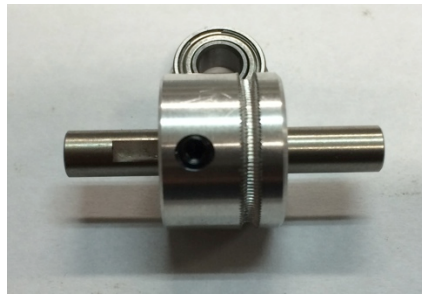


- ギヤ大 MP0.5 歯数 60
- ドライブロール
- ドライブシャフト
- M3-3 ホーローセット

この部品を使用します。



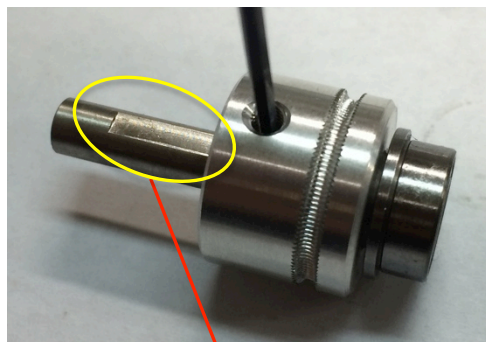
ギヤ大とドライブロールにホーローセットを仮止めします。



ドライブロールをドライブシャフトに通します。

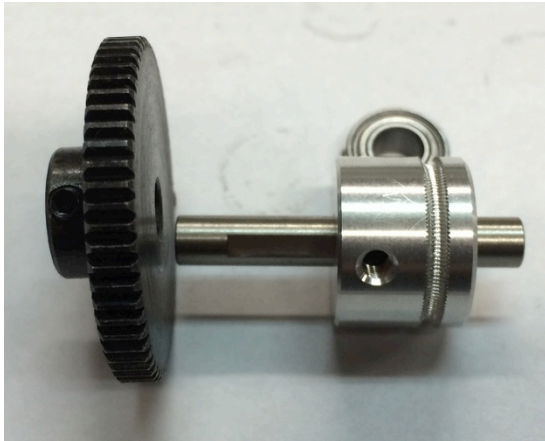


軸端と面位置

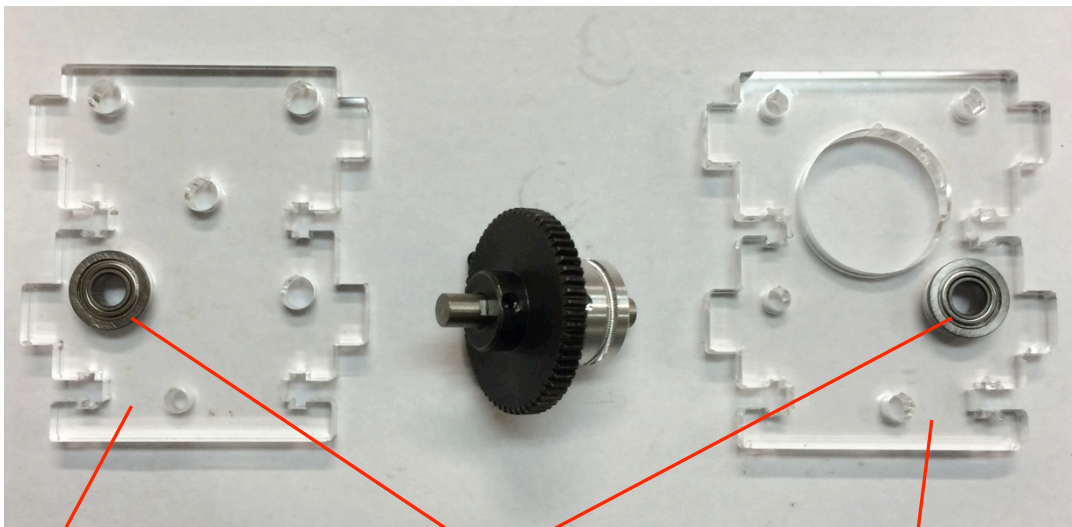


シャフトの平面部で固定

ドライブロールの固定位置を合わせるために、ベアリングを入れて軸端を合わせ、仮止めしたホーローセットを本締めします。



この向きでドライブロールとギヤ大をピッタリ付けてギヤを固定します。

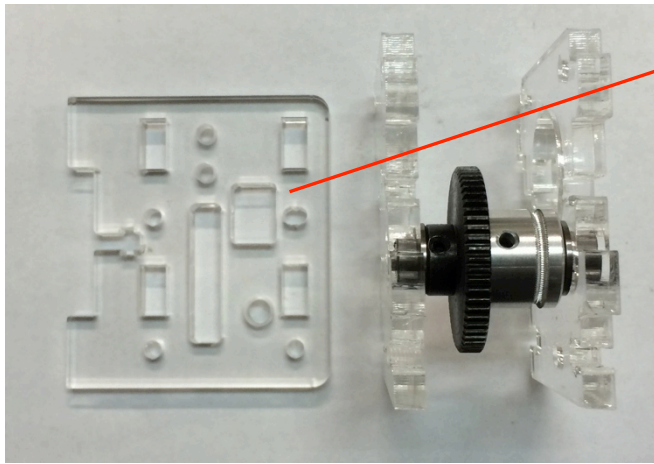


サイドプレート 1      ベアリング      サイドプレート 2  
写真のようにサイドプレートを置いて上からベアリングを押し込みます。



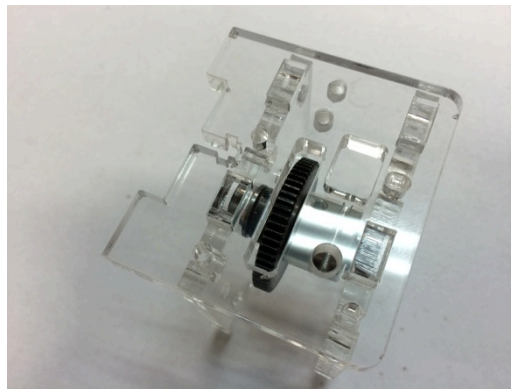
ベアリングにドライブシャフトを通し、  
サイドプレートで挟むように配置します。  
※ベアリングのフランジ(鏝)は内側です。



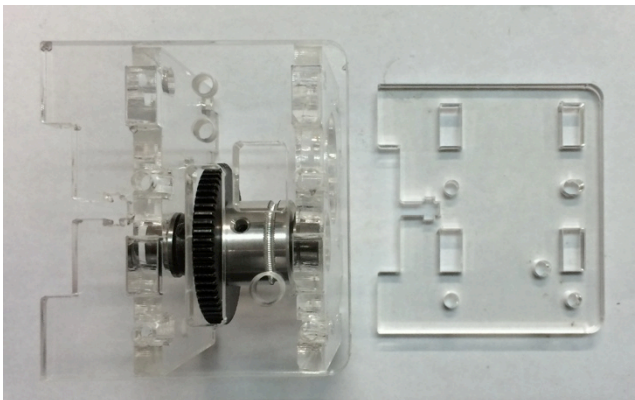


トッププレートを写真の方向に置きます。

四角い穴を合わせながら上から乗せます。

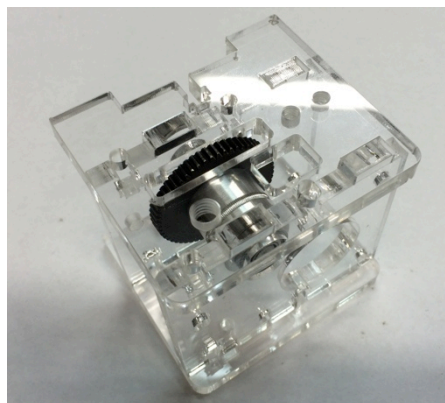
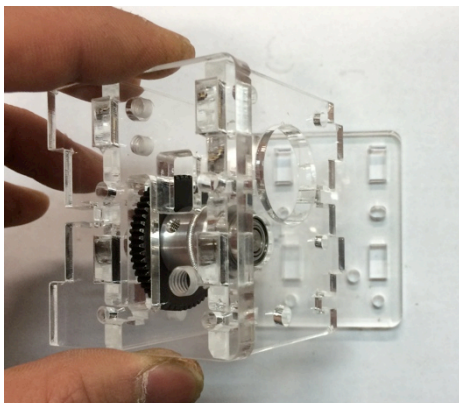


このようになります。



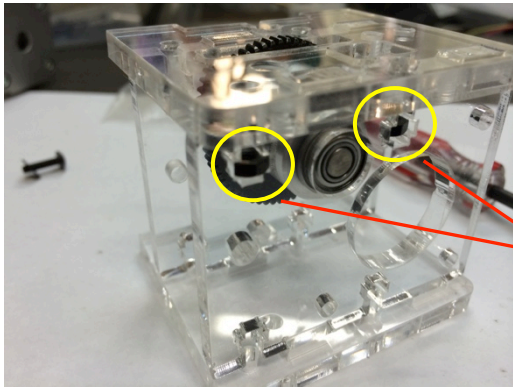
ボトムプレートを写真の方向に置きます。

四角い穴を合わせながら、はめ込みます。



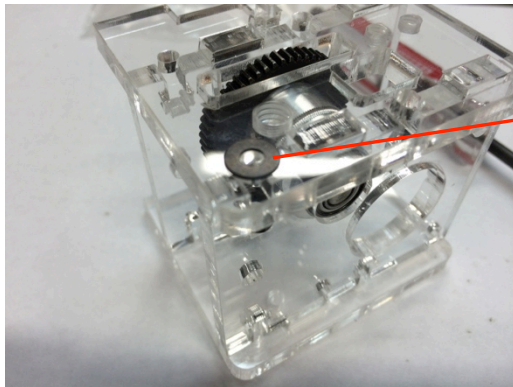


ネジ・ナット・ワッシャの入った袋を準備します。

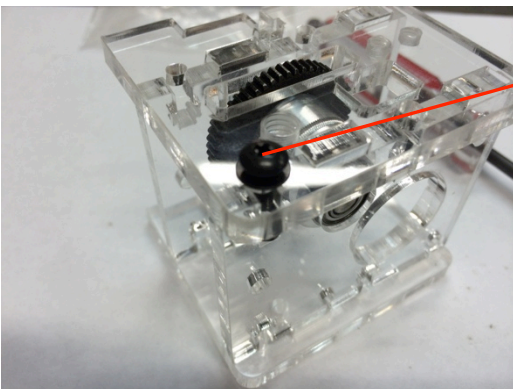


トッププレート 4箇所  
ボトムプレート 4箇所  
ネジを仮止めします。  
※仮止め。きつく締めないで下さい

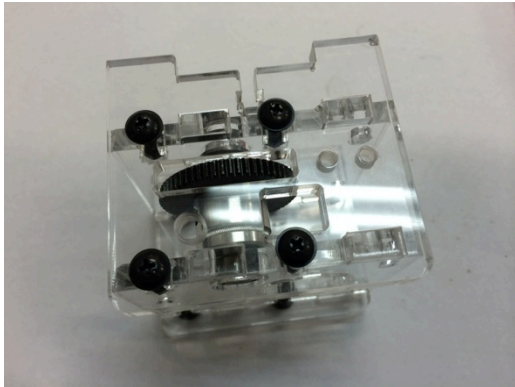
ナットを溝にセット



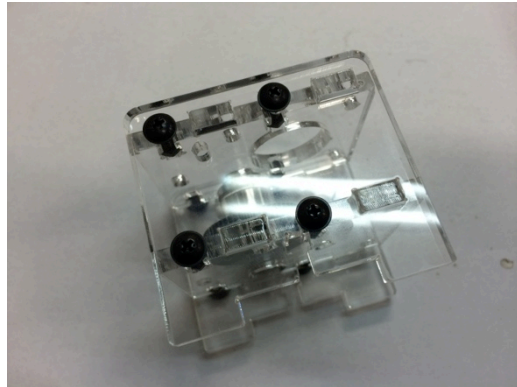
穴に平ワッシャーを置く



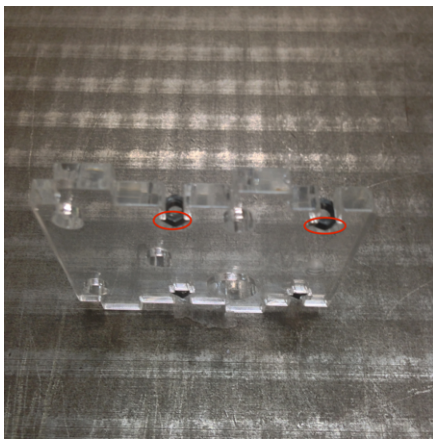
トラスネジで締めます  
M3-12



トッププレート面

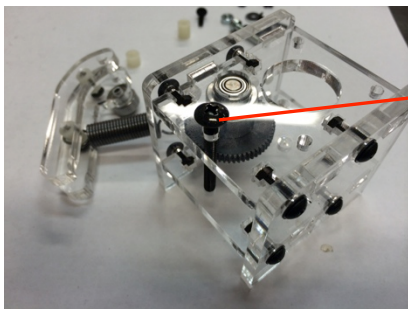


ボトムプレート面



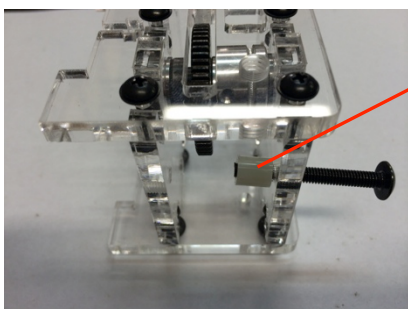
※ ナットをセットする際、アクリル平面にナットの角が出るように置きます。よく見るとナットを入れるレーザーで切った入射側からは入りやすくなっています。ナットが入りにくい場合は、無理せずに入れる方向を変えたり、ヤスリで少し削ったりして入れて下さい。アクリルは亀裂が入りやすい材料です。注意して作業して下さい。

### アームの取付

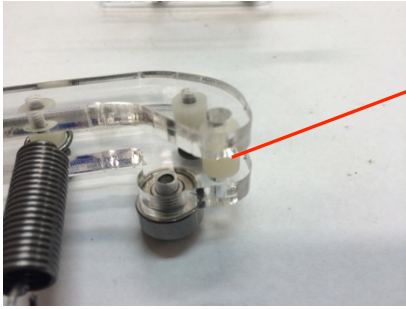


残り 1 つの袋から長いネジを出します  
M4-35 トラスネジ

このネジを支点にアームを取付ます。

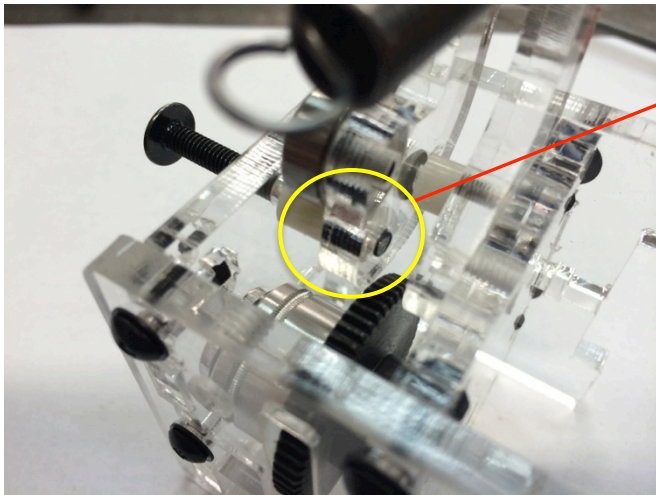


厚さ 8mm 内径 4mm のスペーサー

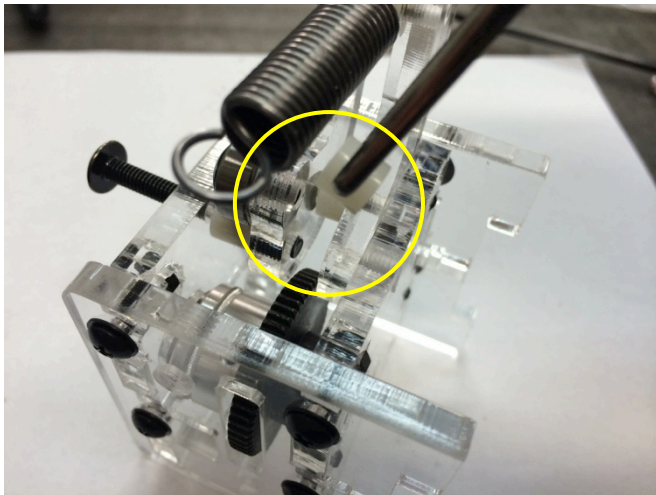


厚さ 6mm 内径 4mm のスペーサー

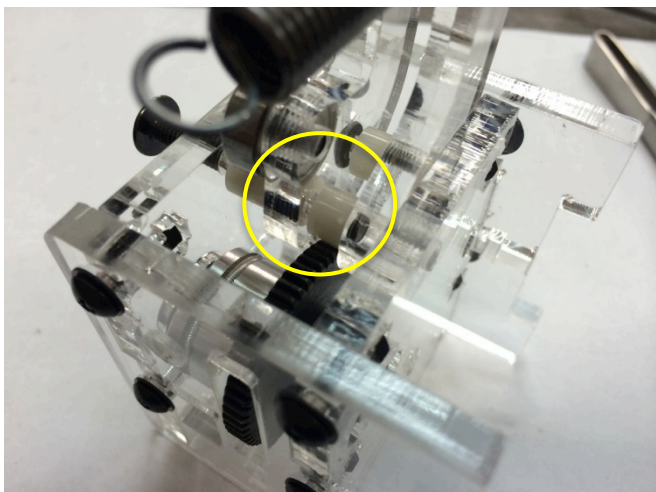
穴に合わせてアームの中に入れます。  
※この時点で入れても取り付け時に落ちます。  
入れる位置の確認です。



ネジをアームに通します。



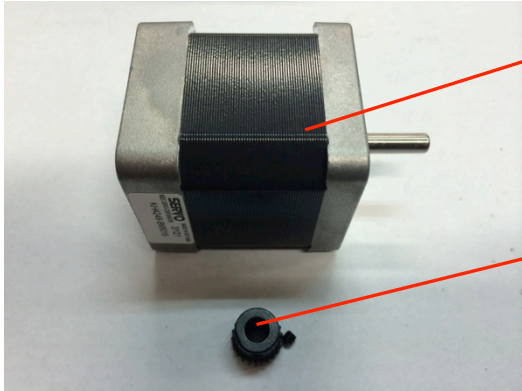
ピンセット等で 6mm のスペーサーをアームの間に入れてネジを通します。  
※これは少し難しいです。落ち着いてやれば出来ます。



うまく通りました!

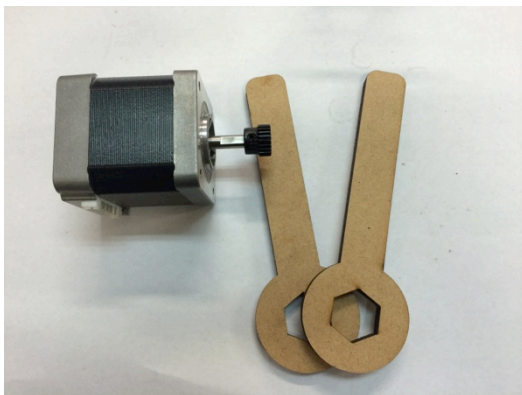
ネジを奥まで入れて締めます。※締めすぎるとアームが動かなくなります。ドライバーを回して止まったら 30 度が目安です。

## フィーダーモーターの取付

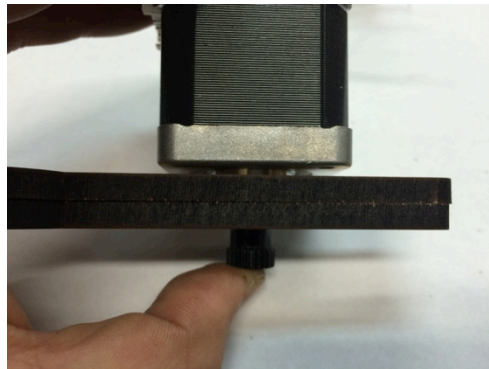
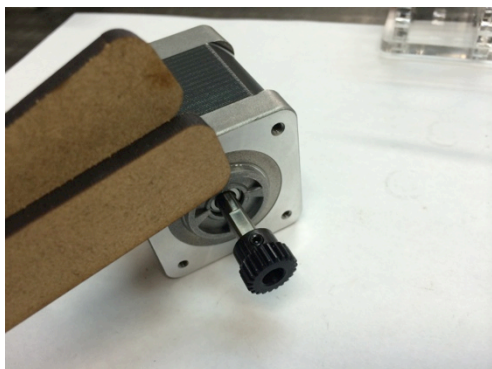


大きいモーター

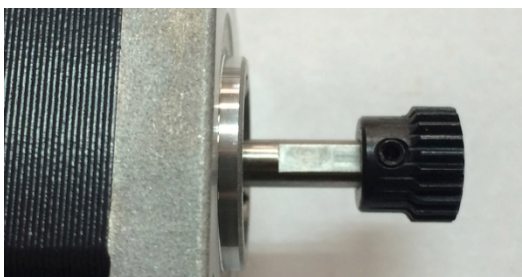
ギヤ小  
M3 ホーローセット



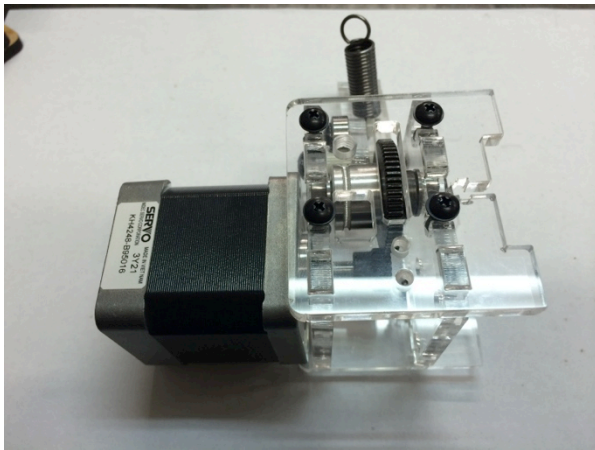
メガネレンチ二つ



メガネレンチを二枚重ねて写真のようにモーターとギヤで挟みます。  
この位置でギヤを固定します。

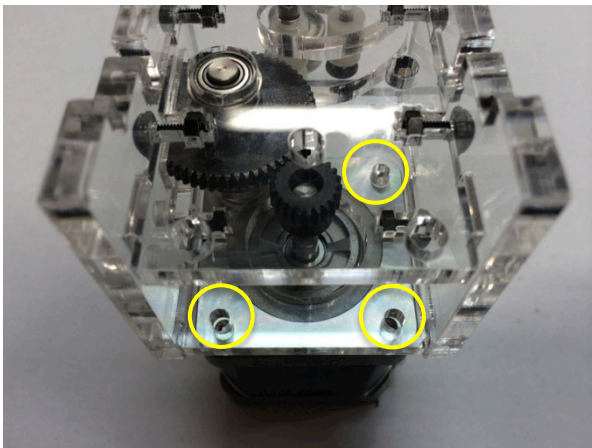


締め付けの際、モーターシャフトの D  
カットの平面とホーローセットを合  
わせて下さい。



写真のようにモーターをセット  
します。

シール面が上向きです  
コネクタ面が下向きです



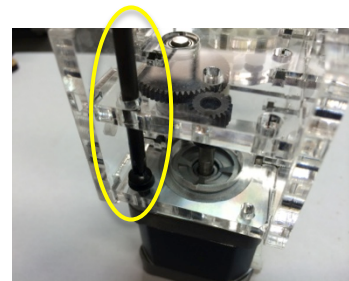
黄色丸 3 箇所でモーターを固定  
します。



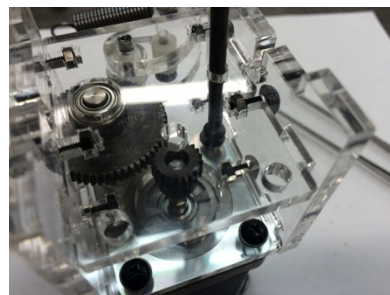
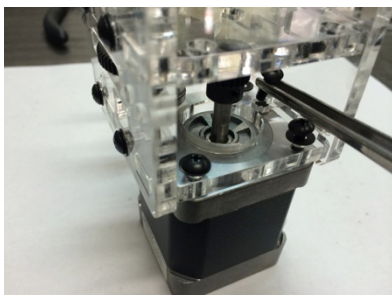
ワッシャー  
※3 箇所仮止めします。



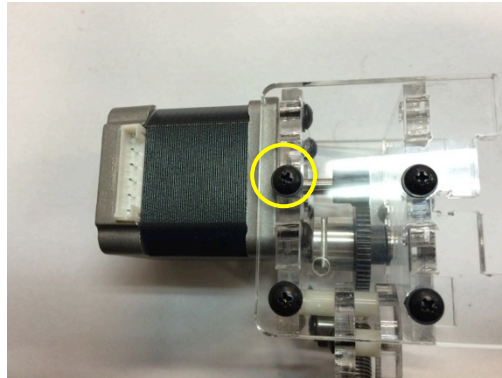
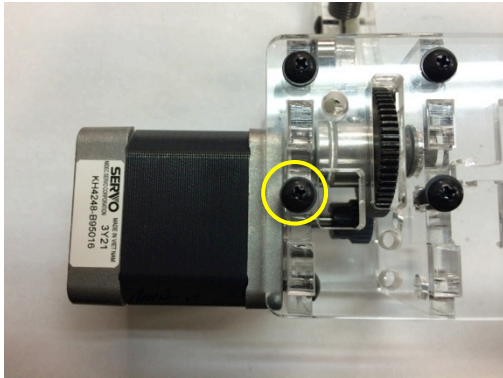
M3-10 トラスネジ



ドライバで仮止



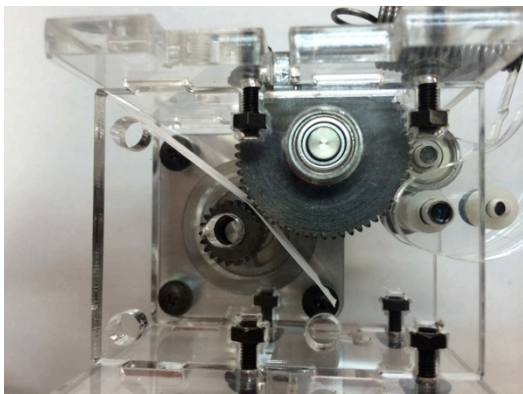
奥のネジはピンセット等を使用して下さい。 仮止めです。  
まだきつく締めないで下さい。



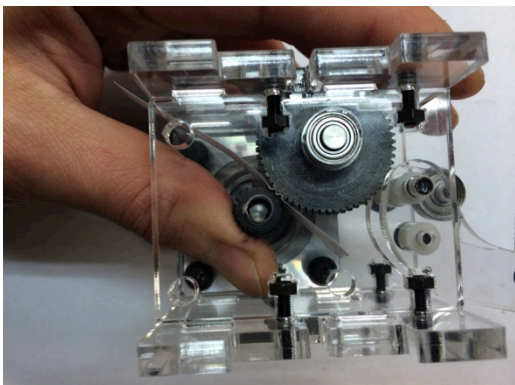
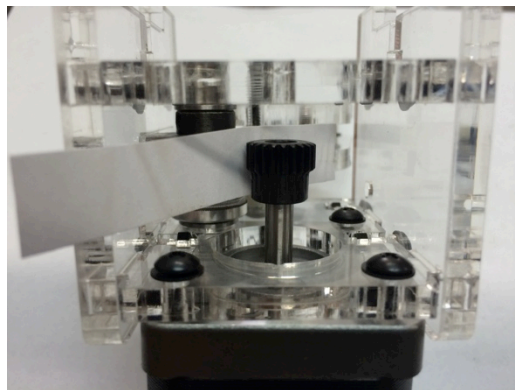
モーターを本締めする前に、黄色丸のネジをゆるめて下さい。二箇所  
(注意)このネジが締まった状態でモーターのネジを締めるとナットと干渉してサイドプレートにクラック(ヒビ)が入ります。



モーターを固定する際に、ギヤ大とギヤ小の間隙を作るために、写真のような紙を一枚用意します。  
コピー用紙です。

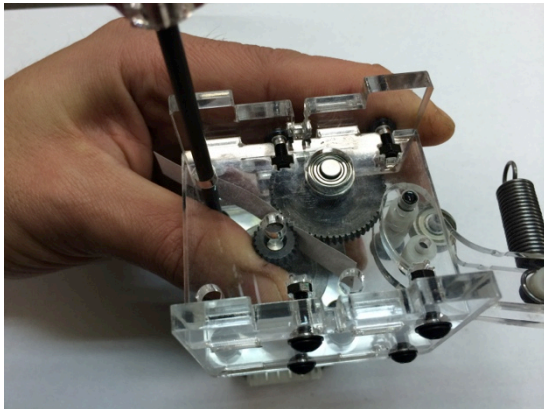


ギヤの間に紙を挟みます。



ギヤ小を親指で押えてムギュッとギヤ大に押さえつけます。



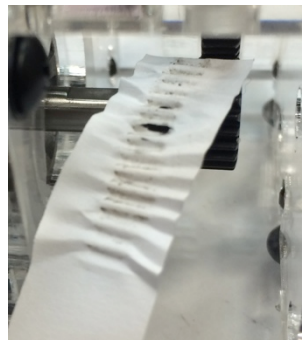


押さえつけ状態で 3 本のモーターのネジを本締めします。

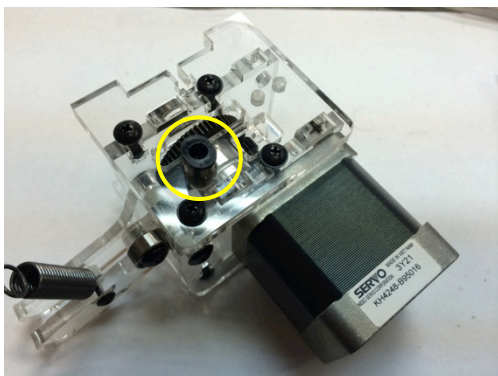
その後トッププレート 4 本  
ボトムプレート 4 本のネジを締めます。本締めです。  
※アクリルは割れやすいので、締めすぎに注意して下さい。



ギヤを指で回して紙を取り除きます。



※紙を取り除いた後、カタカタと僅かにギヤ間の遊びが有るのが適正です。

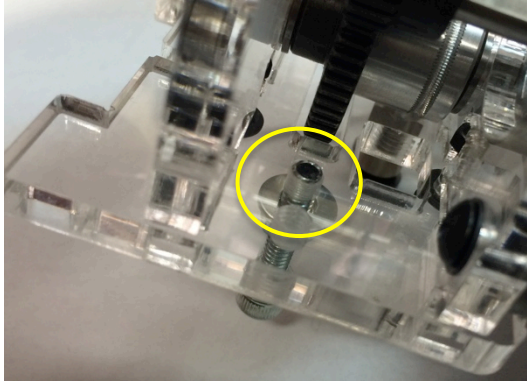


チューブ継手を手でネジ込みます。

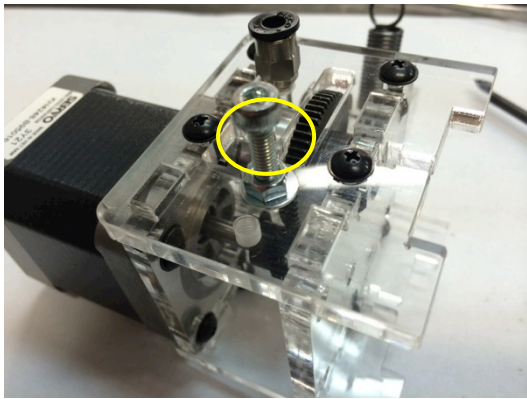


M4-20 キャップボルト  
M4 平ワッシャ  
M4 ナット  
を写真の穴に取り付けます。  
※ネジ穴二箇所あります。ギヤに近い方のネジ穴に入れてください。

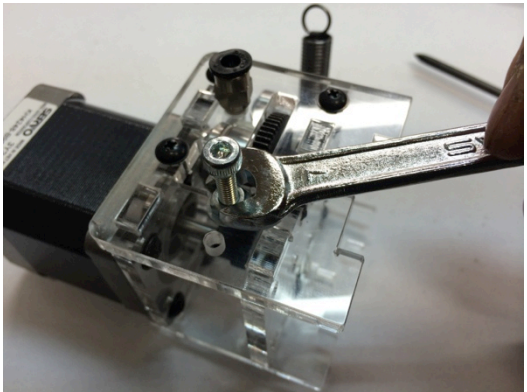




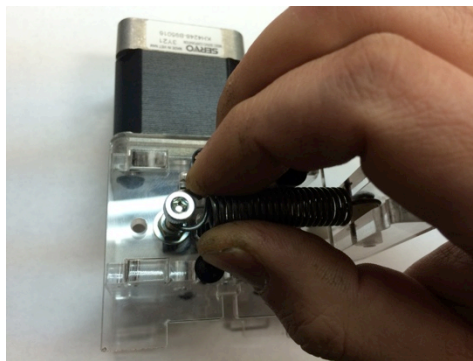
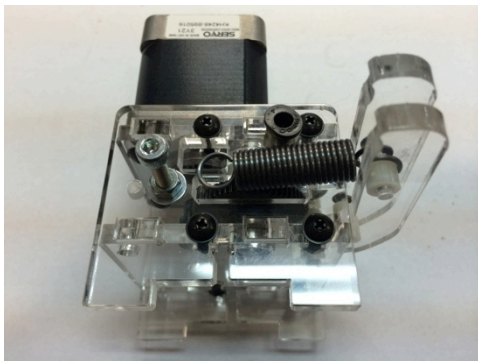
この M4 キャップボルトはスプリングの張力がかかります。アクリルの厚さ 5mm までねじ込んで下さい。



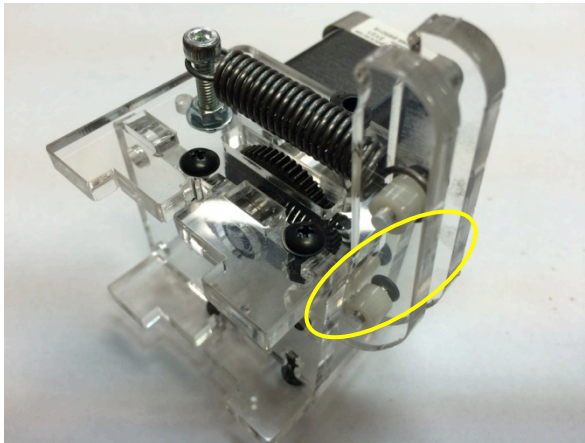
ナットとトッププレートの上に平ワッシャです。



キャップボルトがガタつかない程度にナットを締めて下さい。  
※締めすぎ注意です。

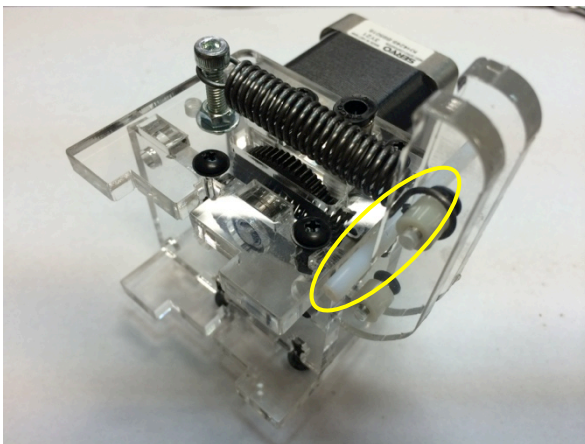


スプリングをキャップボルトに掛けます。  
ゆっくり作業して下さい。バチンッと云うような衝撃は厳禁です。



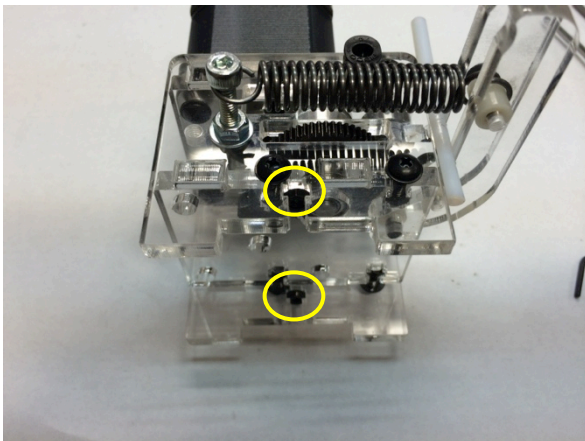
黄色丸の部分にテンション開放チューブを入れます。

手でアームを開いて入れます。



この様な感じです。

※このチューブを挟んでいるときは、フィラメントにモーターの動力が伝達しません。メンテナンス時や材料交換時に便利です。



本体取り付け時に黄色丸部分にナットが必要です。二箇所

ボンド等で予めナットを固定しておくと、後の作業が楽になります。

フィーダーが完成しました。